

第9回

ポスターと 塩津潟図展

越後絵図(1645年)



期日:平成20年8月8日(金)~10日(日)

時間:午前9時~午後6時

※初日は午後1時から

※最終日は午後4時まで

会場:胎内市『産業文化会館』

主催:塩津潟教育研究所





平成 20 年 8 月吉日

各 位

塩津潟教育研究所
所長 伊藤 國夫

個 展 鑑 賞 の お 礼

謹啓 立秋の候、貴台におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます
日頃より「塩津潟の研究」について、多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
この度は、私の第9回・第10回個展の鑑賞をいただきまして誠にありがとうございました。
心よりお礼申し上げます。

第 9 回 「ポスターと塩津潟図展」 8 月 8～10 日 胎内市産業文化会館
第 10 回 「塩津潟図とポスター展」 8 月 16～22 日 新発田市市民ギャラリー

内容は、塩津潟図・ポスター・おくやまのしょう・文芸なかじょう・文芸しばたです。

- ◎ 塩津潟図 ⇒ 私が長年にわたり探し求めてきた地図類等
『塩津潟は塩の道』の執筆の原動力になった各種地図です。「塩の道」がうかがえる『塩津潟』が、それぞれに記述してあります。
- ◎ ポスター ⇒ 「塩津潟」の由来と関連するポスター
 - ① 新潟県・・・胎内市・新発田市・新潟市等
 - ② 日本国内・・・東京都・佐賀県・青森県等
 - ③ 諸外国・・・モンゴル・フランス等
 - ④ 個展・・・新発田市・胎内市・新潟市等
 - ⑤ ワインラベル・・・フランス
 - ⑥ ホームページ『塩津潟の由来』
- ◎ 文芸 ⇒ 「塩津潟」や「都岐沙羅柵」等に関する書籍
 - ① 『おくやまのしょう』
 - ② 『文芸なかじょう』
 - ③ 『文芸しばた』

※ 「塩津潟」や「都岐沙羅柵」が、胎内市と新発田市に深く関わっていることをご理解していただけたものと思います。

私は、個展の補充として、ホームページ『塩津潟の由来』も、是非ご覧下さい。

(アクセス数 30033 回⇒平成 20 年 8 月 7 日現在)

【 <http://www.inet-shibata.or.jp/~shionotsu/> 】

本日は、個展の鑑賞をいただきありがとうございました。

【】 伊藤 國夫のプロフィール 【】

1945 年	新潟県に誕生
1963 年～	玉川大学職員
1967 年～	新潟県教員
1994 年～	「塩津潟」や「都岐沙羅柵」について講演を多数
1997 年～	全国誌等に執筆多数
1996 年～	新発田市展・胎内市展（旧中条町）に出展を開始
2003 年～	塩津潟教育研究所を設立
2005 年～	国外の芸術祭に出展を開始（オーストリア・トルコ・イタリア・モナコ・モンゴル・オーストラリア・フランス等）
2003 年	『塩津潟は塩の道』初版を発刊
2004 年	『塩津潟は塩の道』第二版を発刊
2005 年	『Shiotsugata is the Salt road』を発刊
2003 年～	『第1回伊藤 國夫個展集』等の著書多数・各賞（各章）の受賞
2007 年～	『伊藤 國夫写真展』第5～7回（新潟市＝県庁ギャラリー・胎内市＝産業文化会館・新発田市＝市民ギャラリー）

【◎今までに受賞した賞等◎】

「 作品名 」	『 賞・章 等 』・・・・・・・・・・授与者等
◎ 「加治川桜の復活」	『オーストリア名誉芸術褒章』・・・ハブスブルク芸術友好協会
◎ 「福島潟の朝風」	『百家芸術褒章』・・・芸術百家監修委員会
◎ 「チューリップフェステバル」	『世界平和名作芸術祭認定作家』・・・芸術祭認定委員会
◎ 「新発田城」	『日仏芸術交流貢献作家賞』・・・UNIVERS DES ARTS (No.15)
◎ 「芸文前のオアシス」	『優秀作家賞』・・・アートコミュニケーション
◎ 「空中庭園」	『フランス式芸術賞』・・・UNIVERS DES ARTS (No.20)
◎ 「水鳥とも語らい」	『創刊 20 号記念優秀作家賞』・・・UNIVERS DES ARTS (No.20)
◎ 「翡翠海岸」	『神秘の金賞』・・・UNIVERS DES ARTS (No.21)
◎ 「塩津潟は塩の道」	『日本文化伝道士認定』・・・芸術百家 (No.19)
◎ 「塩津潟は塩の道」	『芸術文化伝道金賞』・・・Gallery G 実行委員会
◎ 「芸術ポスター」	『蒙日 ゴールデン芸術賞』・・・蒙日芸術交流会
◎ 「塩津潟は塩の道」	『最優秀作家大賞』・・・最優秀作家大賞選考委員会
◎ 「塩津潟は塩の道」	『ファンタジア芸術ワイン賞』・・・久遠の栄光祭実行委員会
◎ 「芸術ポスター」	『モンゴル芸術賞』・・・蒙日芸術文化交流会
◎ 「空中庭園」	『アルス・アデウス勲章』・・・モーツアルト生誕 250 年記念ワイン 極上芸術ラベル感覚の五重奏委員会
◎ 「塩の道」	『日本史研究芸術博士』認定・・・フランス芸術協会

著書『塩津潟は塩の道』や写真やラベルアート等に対して、上記のような各賞（章）を受賞（授章）することが出来た。本当に嬉しいことである。

【 おくやまのしょう・文芸なかじょう・文芸しばた等に掲載】

《1》 『おくやまのしょう』

○平成 7 年 3 月	第 20 号	「越国の塩の道」
○平成 9 年 3 月	第 22 号	「塩の津・塩津潟の復活」
○平成 10 年 3 月	第 23 号	「都岐沙羅櫓は中条町築地が比定地」
○平成 11 年 3 月	第 24 号	「塩の津の比定地は塩津」
○平成 12 年 3 月	第 25 号	「塩津潟のうつりかわり」
○平成 13 年 3 月	第 26 号	「都岐沙羅櫓を月さらに求めて」
○平成 14 年 3 月	第 27 号	「墨書土器“津”が物語るもの」
○平成 16 年 5 月	第 29 号	「都岐沙羅櫓の議論を！」

《2》 『文芸なかじょう』（平成 18 年からは、「文芸たいない」と改名）

○平成 12 年 11 月	第 27 号	「月さらに光が当る」
○平成 13 年 11 月	第 28 号	「塩津潟は急激に市民権を獲得」
○平成 14 年 11 月	第 29 号	「胎内川の恵みのありがたさ」
○平成 15 年 10 月	第 30 号	「塩津潟が新発田市議会に上程された」
○平成 18 年 11 月	第 33 号	「堀切川の淀みなくに思いを寄せて」 「川柳 5 首」 「胎内市を全国・世界へ発信展を開催して」

《3》 『文芸しばた』

○平成 8 年 10 月	第 22 号	「正保二年越後絵図の思い出」
○平成 9 年 10 月	第 23 号	「新発田藩の塩津潟干拓に想う」
○平成 11 年 10 月	第 25 号	「塩津潟を通った旅人たち」
○平成 13 年 10 月	第 27 号	「都岐沙羅櫓と塩津潟」
○平成 15 年 10 月	第 29 号	「塩津小学校と塩津中学校」
○平成 17 年 10 月	第 31 号	「新・新発田市誕生記念の個展開催」
○平成 19 年 10 月	第 33 号	「塩津潟が地域起しに果たした役割」

※ 以上のように、『塩津潟』と『都岐沙羅櫓』については、研究結果や活動事例をその都度掲載してきた。「塩津潟の由来」の、ライフワークである。

2008年(平成20年)8月8日(金曜日)

2008年(平成20年)8月15日(金曜日)

〈胎内市〉
★ポスターと塩津潟図展 8-10
日、産業文化会館。0254(24)
8397、伊藤さん。



〈新発田市〉
★塩津潟図とポスター展 16-22
日、総合健康福祉センター内の市民
ギャラリー。0254(24)83
97、伊藤さん。

2008年(平成20年)8月14日(木曜日)

広報
しばた

ロコ三情報

塩津潟図とポスター展

- とき／8月16日④～22日⑤の午前10時
～午後4時(初日は午後1時～4時、最
終日は午前10時～午後3時)
- ところ／市民ギャラリー
- 料金／無料
- 問い合わせ先／塩津潟教育研究所伊藤
(☎24・8397)

▼塩津潟・図とポスタ
ー展 16-22日、市民ギ
ャラリー。午前10時～午
後4時(初日は正午から、
最終日は午後3時まで)。

